

部局名	健康福祉部	所属名	長寿支援課	所属長名	土井 芳則	電 話	483-1151 内線2220
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	9088		事務事業名称	介護認定審査会事業						短縮コード	経常	9088	臨時	
予算区分	会計	35	介護保険事業特別会計	款	01	総務費	項	03	介護認定審査費	目	01	介護認定審査会費		
区 分	☐ 自治事務 ☒ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		介護保険法、八千代市介護保険条例、八千代市介護保険規則							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
平成12年4月の介護保険法施行に基づき、要介護認定・要支援認定申請者について必要な介護の程度を審査判定する介護認定審査会を運営する。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系		6本の柱（章）	01	第1章健康福祉都市をめざして						
介護保険制度の浸透と高齢化が進む中、要介護認定・要支援認定申請者は増加傾向である。今後は、これまで同様に法改正等による審査判定基準の見直しが予想される。						大項目（節）	03	第3節社会保険						
						中 項 目	02	2. 介護保険						
						小 項 目	02	(2) 保険財政の健全運営						
						細 項 目	01	①財政運営の充実						
				実施計画の計画事業										
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	介護保険法に基づく要介護認定・要支援認定申請者。							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 認定調査員が作成する「認定調査票」と主治医が作成する「主治医意見書」をもとに資料を作成して、保健・医療・福祉に関する学識経験者で構成される介護認定審査会に審査判定の依頼を行う。また、審査判定基準については一律に定められている為、平準化を促進する。							
	※平成24年度に計画していること： 前年度と同じ。							
意図 （何を狙っているのか）	介護認定審査会での審査判定について、公正かつ的確に行えるようにする。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	22年度	23年度		24年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	申請件数	件	5,413	6,600	5,692	7,000	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	審査件数	件	5,141	6,600	5,441	7,000	
	指標2	審査会開催数	回	186	194	191	220	
	指標3							
成果指標	指標1	審査件数/申請件数	%	95	100	96	100	
	指標2	審査件数/審査会開催数	件	28	34	28	32	
	指標3	審査請求件数	件	1	0	0	0	
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	9088	事務事業名称	介護認定審査会事業				所属名	長寿支援課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			介護保険法に基づき、現状のまま継続する。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			申請者の増加により、介護認定審査会の開催回数を増やす必要性が生じると、経費は増加するため。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
介護認定審査会の判定結果により、介護サービスの利用が制限される為、公正かつ的確な審査判定が求められている。									

所属長コメント	介護保険の給付を受けるために必要な認定審査を行う事業であるため、このまま継続して実施してまいります。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									